

整理番号
293

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	特定健康診査等事業費				担当課	国保年金課		
業務名	-				担当係	給付係		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	6	国民健康保険・国民年金			事業区分	直営		
主な取組	1	国民健康保険制度の適正運営			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	5	4	1	1	特定健康診査等事業費			

目的と方針【PLAN】
すべての市民が安心して生活を送ることができるよう、国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の適正運営、国民年金制度の周知徹底を図ります。

事業概要【PLAN】
・疾病、生活習慣病の早期発見と、重症化予防につなげるため、また特定健診を受診しやすくするため、受診環境を整えます。
・ジェネリック医薬品の非利用者に対し、通知等により利用促進を図ります。

対象【PLAN】	国民健康保険被保険者	意図【PLAN】	特定健診を受診することにより、疾病、生活習慣病の早期発見と、重症化予防を図る。 特定健診を受けやすい環境を整える。
-----------------	------------	-----------------	--------------------------------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
特定健診の受診機会を確保するために、集団検診を実施する。
身体状況、体力的見地より、集団健診会場に来場が困難な被保険者には施設健診（病院等での健診）を実施する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	30	30	30	30		
	都道府県支出金	千円	26,830	28,073	30,633	25,094		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	9,703	7,895	8,507	8,560		
	一般財源	千円	36,963	48,789	51,759	37,178		
事業費合計		千円	73,526	76,746	80,858	70,862		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
集団健診実施日数	日	実績値が目標値以上となること	目標値	43	43	43	43	43
			実績値	43	43			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	法令により特定健診は保険者（伊達市）が行うこととされている。 重症化予防や、保健指導の実施においても、健診結果を基に進められている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	特定健診は疾病や生活習慣病の早期発見に有効であり、被保険者の健康に関する意識の向上にも寄与している。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	受診しやすい環境を整えるため、集団検診と施設検診を実施した。 集団検診は、高齢者健診及びがん検診と一体的に行い、受診環境を整えるように務めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	健診受診のための啓発や未受診者勧奨など、健診受診率向上に取り組んだ。
--------	----	-------------------------	------------------------------------

整理番号
294

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	賦課徴収事務				担当課	国保年金課
業務名	-				担当係	賦課係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	国民健康保険・国民年金			事業区分	直営
主な取組	1	国民健康保険制度の適正運営			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	5	1	2	1	賦課徴収費	

目的と方針【PLAN】
すべての市民が安心して生活を送ることができるよう、国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の適正運営、国民年金制度の周知徹底を図ります。

事業概要【PLAN】

- 適正な資格管理や未申告の解消により、公正な課税、徴収を行います。
- 個人に合った納税手段を選択できるように周知、案内します。
- 滞納者や納付困難者に対し納税相談を実施し、必要に応じ、被保険者資格者証を交付します。

対象【PLAN】 国民健康保険税納税義務者

意図【PLAN】 適切な課税を行い、納付を促す。納税困難者に対しては、収納課と協力し納税相談を行う。長期間納税に応じない納税義務者（被保険者）に対しては、被保険者資格者証を交付する。

意図の実現のために必要なこと【PLAN】 令和11年の県標準保険料率の一本化を見据えながらも、被保険者の所得状況を考慮しながら、適切な按分率を設定する。収納課と協力し納税相談会を開催するとともに、交付判定会議により適切に被保険者資格者証を交付する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	24,270	22,574	24,758	25,497		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
	事業費合計	千円	24,270	22,574	24,758	25,497		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
資格証・資格確認書（特別療養）交付世帯数	世帯	実績値が目標値以下となること	目標値	35	30	25	20	16
			実績値	33	30			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	国民健康保険を運営するために必要な事務。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	被保険者資格者証を交付し、公平公正な課税に努めた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	収納課と連携することにより、効果的に納税を促すことができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	国民健康保険税を確保するために、収納課との連携を深めながら、収納率の向上に努める。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------------

整理番号
295

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業				担当課	国保年金課		
業務名	-				担当係	賦課係		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	6	国民健康保険・国民年金			事業区分	直営		
主な取組	2	後期高齢者医療制度の適正運営			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	1	6	後期高齢者医療事業			

目的と方針【PLAN】
すべての市民が安心して生活を送ることができるよう、国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の適正運営、国民年金制度の周知徹底を図ります。

事業概要【PLAN】

- ・健幸づくり課、高齢福祉課、国保年金課が連携し、後期高齢者の健康増進、フレイル予防に努めます。
- ・疾病、生活習慣病の早期発見と、重症化予防につなげるため、高齢者健康診査を実施します。
- ・検査結果をもとに、個別指導（保健指導）を行い、重症化予防に繋がります。

対象【PLAN】
後期高齢者医療制度の被保険者

意図【PLAN】
後期高齢者の健康増進を図り、フレイル予防に努める。個別指導により重症化を予防する。

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
集いの場において、講演等により高齢者の健康に関する意識を高める。（ポピュレーションアプローチ）健康リスクが疑われる高齢者に対し、個別指導を行い重症化を防ぐ。（ハイリスクアプローチ）

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	146,895	152,912	162,009	166,307		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	13,014	12,880	14,206	10,540		
	一般財源	千円	801,849	827,490	827,791	840,852		
事業費合計		千円	961,758	993,282	1,004,006	1,017,699		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
個別指導実施率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	94.0	95.0	96.0	97.0	98.0
			実績値	92.1	92.8			
			達成率	98.0%	97.7%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	高齢者の健康を維持するために必要な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施により、高齢者の疾病の重症化防止及び健康保持が期待でき、医療費の抑制も見込める
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	健康推進課、健幸都市づくり課と連携して事業を実施することにより、効果的な事業展開ができています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	事業実施によって健康保持が図られ、疾病の予防だけでなく、介護予防にも貢献している。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------------

整理番号
88

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	国民年金事務				担当課	国保年金課
業務名	-				担当係	給付係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	国民健康保険・国民年金			事業区分	直営
主な取組	3	国民年金制度の周知徹底			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	4	1	国民年金事務	

目的と方針【PLAN】
すべての市民が安心して生活を送ることができるよう、国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の適正運営、国民年金制度の周知徹底を図ります。

事業概要【PLAN】
・日本年金機構と連携し、国民年金の法定受託事務、協力連携事務に定められている資格、保険料、給付の各届書を適正に受け付け、進達します。
・国民年金の制度を広報紙等により周知します。

対象【PLAN】
国民年金被保険者

意図【PLAN】
国民年金（基礎年金、障害者年金、遺族年金）の資格異動届、給付申請等の各種届を受け、日本年金機構へ進達する。広報紙等を活用し、国民年金の制度を周知する。

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
被保険者からの相談には、日本年金機構と連携して適切に応じ、各総合支所と連携して各種届出を適切に受け付け、日本年金機構へ進達する。広報紙等に国民年金の記事を掲載し、制度の周知を図る。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	3,014	3,216	4,060	4,151		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
	事業費合計	千円	3,014	3,216	4,060	4,151		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
広報紙等による年間周知回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	8	8	8	10	12
			実績値	8	8			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	法定受託事務であり、市が行わなければならない事務
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	年金に関する相談を適切に行い、届出等は速やかな進達に努めた。広報紙等に積極的に記事を掲載し、制度周知を行なった。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	全額国庫支出金で賄われているが、経費を抑え、無駄な支出はなかった。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	各総合支所と情報を共有することで、年金の届出等の受付と進達を速やかに行うことができた。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------------